経済協議会協議事項

日時 令和2年1月21日(火) 午前10時 場所 第2委員会室

- 所管事項の報告について
 - 1 八戸都市圏交流プラザについて
 - 2 農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募の実施について
 - 3 令和元年八戸市中央卸売市場取扱高実績について
 - 4 令和元年八戸市魚市場水揚げ実績について
 - 5 市営魚菜小売市場の耐震診断結果について
 - 6 その他

経済協議会資料 令和2年1月21日 商工労働観光部観光課

八戸都市圏交流プラザ「8 base」(エイトベース) について

八戸圏域産品の認知度を高め、地場産品の販路拡大を図りながら、継続的に地域を応援してくれる関係人口の形成・増加を目指すとともに、観光誘客、UIJターンによる雇用促進や移住・定住等を促進するための首都圏交流拠点として、八戸都市圏交流プラザ「8 base」を設置し、総合的なシティプロモーションを行うもの。

1. 設置目的

- (1) 地域産品の認知度を高め、販路を拡大する
- (2)継続的に地域を応援してくれる関係人口を増やす

2. 運営主体

八戸市(圏域町村と協力し、八戸圏域連携中枢都市圏事業として実施予定)

3. 機能

- (1) 飲食機能・物販機能
- (2)交流機能

八戸圏域ならではの食の魅力を通して交流を促すため、飲食機能を強化するとともに、圏域のファンづくりや、圏域への移住・UIJターンを促進するための、各種交流イベントを開催することとし、一般的なアンテナショップとの差別化を図る。

4. 交流プラザの概要

(1) 名称及び愛称

名 称 八戸都市圏交流プラザ

愛 称 8 base (エイトベース)

コンセプト 八戸都市圏の「8」は、8市町村の8とも共通し、交流プラザを表すのに 適切な数字。「8」を 90 度回転させることで、無限大の意味にもなる。この 「8 base」はそのように、八戸都市圏の可能性は無限大であり、それを発信する 拠点 (=base) であることを示す。

(2) 所在地

東京都千代田区内幸町 1 丁目 7-1

面積:約141㎡(約43坪)

入居エリア

「日比谷 OKUROJI」(ヒビヤオクロジ)

→JR 東日本グループの株式会社ジェイアール東日本都市開発が、JR 有楽町駅から 新橋駅間の 100 年以上の歴史を刻む煉瓦(レンガ)アーチ高架橋と、東海道線・ 東海道新幹線の高架橋が一体となって生まれた高架下空間を活かし、再開発を するエリアの名称

「8 base」を含む約50店舗が、今年6月末に一斉にオープンする予定

(3) 営業時間・定休日

営業時間:11:00~22:00 (予定)

定 休 日:年末年始(予定)

(4) 運営事業候補者

事業者公募、選考会を経て運営事業候補者を決定 令和2年度4月に運営業務委託契約を締結予定

運営事業候補者:株式会社 金剛(代表取締役 大久保 圭一郎)

金剛グループ概要 八戸市内で10店舗の飲食店を経営。

東京都内にも 魚食家「きんき」パレスビル店を出店

(5) 取扱商品

八戸圏域の特産品や旬の食材を活用した創作料理、郷土料理、ご当地グルメなど、 圏域の魅力を最大限に発信できるようなメニュー構成とするほか、八戸圏域の産品 を陳列・販売する。

飲食メニュー (例)

鯖のしゃぶしゃぶ 鯖の棒寿司 あおもりシャモロック丼 南部せんべいの天ぷら 田子にんにく餃子 ほか 販売品目

海産物・農産物・畜産品・ 加工食品・酒・菓子類・工芸品ほか

5. 今後のスケジュール

R2.3月 物件賃貸借本契約締結 内装工事契約

R2.4月 運営事業者との契約締結

R2.5 月末 内装工事完了

R2.6月末 交流プラザ開業

「日比谷 OKUROJI」・八戸都市圏交流プラザ「8 base」イメージパース

■『日比谷 OKUROJI』(ヒビヤオクロジ)(JR 有楽町駅から新橋駅間の高架下)

(1) パース

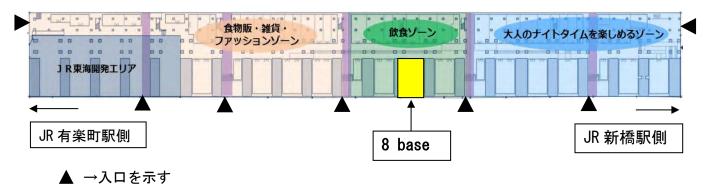
内観 外観





画像提供:(㈱ジェイアール東日本都市開発

(2)全体平面図



■「8 base」店舗イメージ 外観

内観





※ロゴは仮のもの

農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募の実施について

現任の農業委員及び農地利用最適化推進委員が、令和2年7月14日に任期満了となることから、次期農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募を実施する。

1 農業委員(任期:令和2年7月15日~令和5年7月14日)

| 定数 | 備考 |
|------|------------------------|
| 10 1 | ・認定農業者が定数の過半数を占めること |
| 19人 | ・利害関係を有しない者が1人以上含まれること |

2 農地利用最適化推進委員(任期:令和2年8月総会日~令和5年7月14日)

| 区域名 | 定数 | 備考 |
|-------|------|--------------|
| 市川・下長 | 4 | 市川(2) 、下長(2) |
| 上長・豊崎 | 4 | 上長(2) 、豊崎(2) |
| 館 ・是川 | 4 | 館(2)、是川(2) |
| 大館・南浜 | 4 | 大館(2) 、南浜(2) |
| 南郷 | 6 | 島守(3) 、中沢(3) |
| 計 | 22 人 | |

3 公募の概要

農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募は、同時に実施する。

- ●公募期間 令和2年2月3日(月)から3月2日(月)までの29日間
- ●受付場所 農林水産部農政課・農業委員会事務局(市庁別館5階)
- ●周知方法 ・「広報はちのへ 令和2年2月号(1/20発行)」に記事掲載
 - ・農業委員会が発行する「はちのへのうぎょうだより 令和2年 新年号 (1/10 発行)」にチラシ折込み
 - ・市ホームページにお知らせ及び募集要項掲載

4 公募の実施後のスケジュール

| | 農業委員 | 農地利用最適化推進委員 |
|--------|----------------|-------------|
| 令和2年4月 | 選考委員会 (候補者決定) | |
| 6 月 | 6月議会(選任同意議案) | |
| 7月15日 | 任命・組織会 (会長等選出) | 選考 (組織会) |
| 8月 | | 委嘱 (総会) |

経済協議会資料 令和 2年1月21日 農林水産部中央卸売市場

令和元年八戸市中央卸売市場取扱高実績について

| ※八戸市中央卸売市場青果部取扱高実績 | ••••• | 1ページ |
|---------------------|------------|------|
| ※八戸市中央卸売市場花き部取扱高実績 | | 2ページ |
| ※今和元年東北各中央卸売市場取扱状況(| (读報値) •••• | 3ページ |

八戸市中央卸売市場青果部取扱高実績

1. 取扱高 期間: 平成31年1月から令和元年12月まで(開市日数 254 日)

数 量 : 108,817 t (前年比 102.6%) 金 額 : 20,054,654 千円 (前年比 85.5%)

2. 月別取扱高

上段:数量(t)と前年比 下段:金額(千円)と前年比

| -: /1/11/1/N | ., . | | | | | | | | | | エバンタ主、 | 7 - 10 0 1 | | 1 37 - 133 1 20 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-----------------|
| 区分 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合 計 | 前年取扱高 |
| | 4,448 | 5,635 | 7,076 | 6,389 | 5,937 | 8,078 | 9,347 | 8,734 | 9,188 | 11,083 | 9,414 | 8,167 | 93,496 | 91,515 |
| 野菜 | 110.5% | 117.0% | 102.7% | 98.2% | 97.1% | 96.8% | 101.2% | 109.9% | 105.8% | 91.5% | 95.4% | 117.4% | 102.2% | |
| ±1′ ** | 1,133,754 | 1,293,698 | 1,334,224 | 1,352,977 | 1,132,637 | 1,268,508 | 1,451,944 | 1,329,798 | 1,327,986 | 1,333,784 | 1,281,715 | 1,517,632 | 15,758,656 | 19,143,206 |
| | 90.0% | 86.6% | 81.7% | 102.3% | 89.3% | 94.1% | 84.7% | 78.1% | 70.3% | 60.7% | 71.8% | 99.1% | 82.3% | |
| | 1,048 | 1,359 | 1,161 | 1,009 | 847 | 886 | 1,305 | 1,329 | 1,087 | 1,329 | 1,597 | 1,888 | 14,845 | 14,041 |
| 果実 | 102.7% | 112.0% | 104.0% | 116.7% | 104.0% | 104.7% | 123.3% | 89.8% | 96.1% | 101.3% | 105.1% | 113.4% | 105.7% | |
| 木 天 | 266,077 | 331,712 | 338,531 | 308,328 | 302,050 | 311,612 | 390,466 | 377,492 | 279,686 | 283,331 | 382,453 | 493,688 | 4,065,425 | 4,073,929 |
| | 96.6% | 99.9% | 90.9% | 102.7% | 95.1% | 96.0% | 100.3% | 98.4% | 96.5% | 102.2% | 108.0% | 108.0% | 99.8% | |
| その他 | 44 | 39 | 38 | 47 | 55 | 34 | 30 | 29 | 25 | 28 | 43 | 65 | 476 | 486 |
| (野菜・果実加 | 102.3% | 84.4% | 83.1% | 161.6% | 96.3% | 98.8% | 85.6% | 97.6% | 93.1% | 89.8% | 94.0% | 103.1% | 97.9% | |
| 工品、鳥卵、 | 21,669 | 21,808 | 23,958 | 16,373 | 18,835 | 13,442 | 13,539 | 13,335 | 12,774 | 14,799 | 19,093 | 40,948 | 230,574 | 233,104 |
| その他) | 92.6% | 89.9% | 106.9% | 128.3% | 89.7% | 100.6% | 98.3% | 90.2% | 99.2% | 100.4% | 94.2% | 103.8% | 98.9% | |
| | 5,540 | 7,033 | 8,275 | 7,445 | 6,839 | 8,998 | 10,682 | 10,092 | 10,300 | 12,440 | 11,054 | 10,120 | 108,817 | 106,042 |
| 合 計 | 108.8% | 115.7% | 102.7% | 100.6% | 97.9% | 97.5% | 103.4% | 106.7% | 104.7% | 92.4% | 96.7% | 116.5% | 102.6% | |
| | 1,421,500 | 1,647,217 | 1,696,713 | 1,677,678 | 1,453,522 | 1,593,562 | 1,855,948 | 1,720,625 | 1,620,446 | 1,631,914 | 1,683,261 | 2,052,268 | 20,054,654 | 23,450,240 |
| | 91.2% | 89.0% | 83.7% | 102.6% | 90.4% | 94.5% | 87.7% | 81.9% | 74.0% | 65.5% | 78.0% | 101.2% | 85.5% | |

3. 入荷及び価格の状況

[野 菜] 1、2月は冬型の気圧配置になることが多かったものの、気温は平年を上回って推移したため、生育は前進傾向となり、太物・大玉傾向となった。3月は全国的に 気温の上昇が進み、順調な生育となった品目が多かった。しかし、4月初旬は東日本を中心に季節外れの低温となり、中旬にかけて価格が高騰した品目もあった。 5月は高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、全国的に順調な入荷となり、加えて大型連休後の消費の低迷により単価が前年割れとなる品目が見られた。東北北 部は6月中頃に梅雨入りし、それまでの少雨・干ばつ傾向が一転し、影響が懸念されていた品目も回復が見られ、数量も安定してきた。9月に上陸した台風15号は 千葉県を中心に大きな被害をもたらした。11月の天候は荒れなかったものの、9月10月の冠水被害等の影響が残り入荷減となった品目もあった。

1月はキャベツ、レタスを中心に葉茎菜類で全般的に豊作傾向となり、生育順調で数量増の単価安となった。2月は好天による大根の前進出荷が続き、前年より数量が多かった。3月は雪解けが早まり、長いもが洗い・土付きとも入荷順調で数量、金額共に前年を上回った。4月は白菜が低温のため遅れが見られ、数量減の単価高となった。5月はごぼうが例年より残量が多く、数量は多かったものの単価安で推移した。6月は馬鈴薯が、関東産の出遅れの影響により数量減となり単価高となった。8月は着色が進んだトマトが数量増の単価安で推移した。10月はほうれん草が好天に恵まれ順調な生育となり前年より数量増となった。

「果実」りんごは、年明けは小玉中心の販売となったが、単価が高かったため荷動きは良くなかった。3月は普通冷蔵品からCAに切り替わったが、キズ果等の残量が多く、4月頃まで数量は多いが販売に苦戦し単価安となった。5、6月はサンフジの残量が多く、以降も値頃感のある下等級品中心の販売となった。秋は天候に恵まれたため生育が早く、平年より一週間ほど早い入荷となった。11月には贈答用の荷動きが活発になり単価高で推移した。

1月は気温が低かったこともあり、みかんの荷動きがよく数量、金額共に前年を上回った。2月はぶどうが数量増で単価安となり、順調な販売となり荷動きも良かった。3月はいちごが寒さの影響でやや出荷は少なかったものの、彼岸需要などにより活発な荷動きとなった。5月になると、関東産のメロンの入荷が始まったが、産地相場と販売価格が合わず厳しい販売となった。6月中旬頃にはさくらんぼの入荷が始まったが、昨年に比べ数量減の単価高で推移した。夏には県内産の西瓜が前進出荷となり、お盆前の入荷は減少したものの活発な荷動きとなった。10月には極早生みかんの入荷があったが食味悪く、11月以降も鈍い荷動きとなった。

八戸市中央卸売市場花き部取扱高実績

1. 取扱高 期間: 平成31年1月から 令和元年12月まで(開市日数 244 日)

数 量 : 13,422 千本 (前年比 91.5%) 金 額 : 1,165,692 千円 (前年比 95.1%)

2. 月別取扱高

上段:数量(千本・千鉢・千個)と前年比 下段:金額(千円)と前年比

| 区 分 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合 計 | 前年取扱高 |
|-----------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|-----------|-----------|
| | 665 | 820 | 1,657 | 959 | 1,000 | 810 | 990 | 1,422 | 1,141 | 792 | 720 | 1,260 | 12,237 | 13,386 |
| 切花 | 91.9% | 100.8% | 90.4% | 90.8% | 95.1% | 84.7% | 101.3% | 85.4% | 97.6% | 82.9% | 85.4% | 94.0% | 91.4% | |
| 9) 16 | 59,094 | 67,392 | 136,953 | 72,999 | 80,243 | 57,613 | 72,037 | 121,283 | 98,200 | 68,696 | 66,448 | 116,385 | 1,017,342 | 1,072,129 |
| | 95.0% | 99.3% | 99.1% | 105.5% | 108.9% | 85.3% | 93.1% | 86.4% | 99.5% | 75.9% | 92.9% | 101.3% | 94.9% | |
| | 8 | 10 | 13 | 19 | 23 | 10 | 7 | 6 | 10 | 13 | 10 | 8 | 137 | 148 |
| 鉢 物 | 131.0% | 111.3% | 68.2% | 97.4% | 90.5% | 95.8% | 124.5% | 110.5% | 142.0% | 90.5% | 55.6% | 93.9% | 92.5% | |
| 业4 17月 | 3,895 | 4,383 | 5,794 | 8,409 | 8,991 | 3,633 | 3,638 | 2,625 | 3,271 | 5,160 | 5,203 | 4,773 | 59,774 | 62,688 |
| | 131.0% | 112.4% | 84.2% | 108.8% | 92.4% | 96.3% | 120.8% | 121.5% | 99.9% | 91.9% | 63.3% | 88.2% | 95.4% | |
| その他 | 22 | 86 | 70 | 134 | 194 | 128 | 77 | 38 | 55 | 72 | 55 | 117 | 1,049 | 1,136 |
| (枝物、観葉植物、 | 74.4% | 57.2% | 101.7% | 99.7% | 91.9% | 91.4% | 127.8% | 93.1% | 106.3% | 98.2% | 100.8% | 97.5% | 92.3% | |
| 苗物、植木、加工 | 2,372 | 5,091 | 5,472 | 14,538 | 13,810 | 9,348 | 6,452 | 3,390 | 4,622 | 6,910 | 4,267 | 12,305 | 88,576 | 91,388 |
| 品、その他) | 93.9% | 100.6% | 105.2% | 102.4% | 79.6% | 91.4% | 138.6% | 99.3% | 104.4% | 95.2% | 83.4% | 102.9% | 96.9% | |
| | 695 | 916 | 1,740 | 1,112 | 1,217 | 948 | 1,075 | 1,467 | 1,206 | 876 | 785 | 1,386 | 13,422 | 14,670 |
| 合 計 | 91.6% | 94.1% | 90.6% | 91.9% | 94.5% | 85.6% | 103.0% | 85.7% | 98.2% | 84.1% | 85.8% | 94.3% | 91.5% | |
| | 65,361 | 76,865 | 148,219 | 95,946 | 103,044 | 70,593 | 82,127 | 127,297 | 106,092 | 80,766 | 75,918 | 133,463 | 1,165,692 | 1,226,205 |
| | 96.5% | 100.0% | 98.7% | 105.3% | 102.2% | 86.5% | 96.6% | 87.2% | 99.7% | 78.1% | 89.4% | 100.9% | 95.1% | |

3. 入荷及び価格の状況

- [切 花] 年明けは、昨年秋頃の台風被害の影響により、沖縄県産の小菊類が入荷少なく高値で推移した。カーネーションは暖冬のおかげで生育が良く、スタンダード・スプレー共に入荷が増えた。3月の彼岸時期では、菊類を中心にユリなどが例年並みの価格で取引され、彼岸後も値崩れは少なく中値で推移した。下旬にかけて急激に気温が上がった結果、開花が進み入荷量が増え価格は安値となった。4月は産地の天候に恵まれ、輪菊とカーネーションが多く入荷したが、引き合いは弱かった。オリエンタルユリやファレノプシスなどは入荷が少なかったが引き合い強く高値で取引された。母の日需要ではカーネーションが例年に比べると扱い本数は減ったが、安定した入荷があり中値安定となった。バラは国産、ケニア産共に引き合いが良く、後半は国産中心の荷動きとなった。母の日需要後は業務需要や小売販売に移り菊や洋花を中心に中値から安値で取引されたが、動きが鈍く数量も少なかった。6月下旬には八戸近郊より多く入荷され、特に菊類は数量多く単価安での取引となった。7、8月はお盆前まで台風や高温障害も少なく、引き合い強く高値から中値で取引された。9月の彼岸時期も安定した入荷があり、彼岸後も値崩れが少なく中値で推移した。10月から気温が低下したため流通本数が少ない状態になったが、11月後半には本数はやや回復した。
- 「鉢物」 年初めは贈答用の蘭類が多く入荷され、苗物は例年並みの入荷であったが、3月下旬頃から入荷が増え、中値での取引となった。4月になると関東・東北から多種に入荷があり、好天にも恵まれ荷動きは良かった。下旬には八戸近郊・津軽方面から出荷されるマーリーゴールドやパンジーなどの苗物が多く入荷した。また、植木では緑化まつりに向けてツツジやサツキなど背丈の低い植木の動きが良かったが、桜やモミジなどの大型の植木は少なく、荷動きも鈍かった。5月上旬には母の日用カーネーションなどが多く取引され、苗物は八戸近郊からの入荷も多かった。植木ではヒバ類の動きが多かったが、芝生販売が中心の動きとなった。6月になると、苗物の動きが良くなり、青森県内をはじめ、秋田県や岩手県、東北一帯からの入荷があった。 蘭類も動きが良かったが、観葉植物の動きは弱かった。7、8月は高温障害のため入荷が安定せず、引き合いも弱かったことから荷動きが悪かった。9月は胡蝶蘭など蘭類は安定して入荷され、苗物は東北から関東方面へ切り替わり始めたがやや不安定であった。11月はシンビジュームや蘭類などが安定して入荷された一方、ポインセチアやシクラメンの動きは鈍かった。

令和元年東北各中央卸売市場取扱状況(速報値)

【青果部】

| | 数量 | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------|----------|------------|--------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 順位 | 市場名 | 令和元年(トン) | 平成30年 (トン) | 前年比(%) | 平成30年 順位 | | | | | | | | | | |
| 1 | 仙台市 | 161,180 | 166,190 | 97.0 | 1 | | | | | | | | | | |
| 2 | 八戸市 | 108,817 | 106,042 | 102.6 | 2 | | | | | | | | | | |
| 3 | 盛岡市 | 64,084 | 72,842 | 88.0 | 3 | | | | | | | | | | |
| 4 | 青森市 | 59,244 | 63,821 | 92.8 | 4 | | | | | | | | | | |
| 5 | いわき市 | 42,270 | 54,379 | 77.7 | 5 | | | | | | | | | | |

| - 1 | | | | | | |
|-----|----|------|--------------|---------------|--------|-------------|
| | | | 金額(和 | 党込み) | | |
| | 順位 | 市場名 | 令和元年 (千円) | 平成30年 (千円) | 前年比(%) | 平成30年 順位 |
| | 1 | 仙台市 | 39,646,709 | 43,690,089 | 90.7 | 1 |
| | 2 | 八戸市 | 20,054,654 | 23,450,240 | 85.5 | 2 |
| | 3 | 盛岡市 | 14,876,375 | 18,499,407 | 80.4 | 3 |
| | 4 | いわき市 | 11,380,178 | 15,662,302 | 72.7 | 4 |
| | 5 | 青森市 | 10,670,147 | 13,191,959 | 80.9 | 5 |

【花き部】

| | 数量 | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|--------------|---------------|--------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 順位 | 市場名 | 令和元年 (千本) | 平成30年 (千本) | 前年比(%) | 平成30年 順位 | | | | | | | | | | |
| 1 | 仙台市 | 106,872 | 110,492 | 96.7 | 1 | | | | | | | | | | |
| 2 | 秋田市 | 28,328 | 28,956 | 97.8 | 2 | | | | | | | | | | |
| 3 | 八戸市 | 13,422 | 14,670 | 91.5 | 3 | | | | | | | | | | |
| (参考) | 青森市 | 11,228 | 10,668 | 105.2 | 4 | | | | | | | | | | |
| | いわき市 | 6,488 | 9,080 | 71.5 | 5 | | | | | | | | | | |

| 金額(税込み) | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|-----------|---------------|--------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 順位 | 市場名 | 令和元年 (千円) | 平成30年 (千円) | 前年比(%) | 平成30年 順位 | | | | | | | | |
| 1 | 仙台市 | 8,409,298 | 8,670,638 | 97.0 | 1 | | | | | | | | |
| 2 | 秋田市 | 1,911,180 | 1,987,898 | 96.1 | 2 | | | | | | | | |
| 3 | 八戸市 | 1,165,692 | 1,226,205 | 95.1 | 3 | | | | | | | | |
| (参考) | 青森市 | 853,959 | 827,624 | 103.2 | 4 | | | | | | | | |
| | いわき市 | 447,616 | 650,384 | 68.8 | 5 | | | | | | | | |

- ・数値は、八戸市が東北の各中央卸売市場に対して調査を行ったもので、12月末までの数値。
- ・数量はトン未満、金額は千円未満を四捨五入し集計。また、金額は税込み。
- ・令和元年の数量、金額は速報値であるため、順位は変動することもある。
- ※花き部において、青森市、いわき市は平成28年4月より地方卸売市場に転換した。

経済協議会 令和2年1月21日 水産事務所

令和元年八戸市魚市場水揚げ実績について

| ※八戸市魚市場水揚げ実績 | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | 1ページ |
|--------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※令和元年全国主要市場水揚表 ・・・・・・・・・・・・・・・2ページ

八戸市魚市場水揚げ実積 (平成31年1月1日~12月31日)

令和2年1月20日現在

- 開場日数は、280日(前年 282日)
- 水揚げ数量は、66,117トン(前年比61%、42,075トン減)
- 水揚げ金額は、14、759、839千円(前年比81%、3、360、010千円減)

| | 区分 | | 数 | 量 | (トン) | | | 金 | 額(| (千円) | | 单 | 価(10kg | 当)(円) | |
|-----------------|-------------------|---------|-----|----------|-----------|----------------|--------------|-----|--------------|---------------|----------------|--------|--------|------------------|----------------|
| | | 令和元年 | 構成比 | 平成30年 | 比 | | 令和元年 | 構成比 | 平成30年 | 比 較 | | 令和元年 | 平成30年 | 比 | 較 |
| 漁業別 | | (A) | (%) | (B) | А—В | A/B*100 (%) | (a) | (%) | (b) | a-b | a/b*100 (%) | (α) | (β) | $\alpha - \beta$ | α/β*100 (%) |
| | 近 海 | 910 | 1 | 561 | 349 | 162 | 548, 092 | 4 | 326, 488 | 221, 604 | 168 | 6, 023 | 5, 820 | 203 | 103 |
| | 船凍スルメイカ | 904 | 1 | 5, 195 | △ 4, 291 | 17 | 693, 000 | 5 | 3, 322, 734 | △ 2,629,734 | 21 | 7, 666 | 6, 396 | 1, 270 | 120 |
| いかつり | 船凍アカイカ | 7, 152 | 11 | 4, 631 | 2, 521 | 154 | 3, 251, 653 | 22 | 2, 225, 537 | 1, 026, 116 | 146 | 4, 546 | 4, 806 | △ 260 | 95 |
| V · 13- 9 | ニュージーランド スルメイカ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - |
| | 海外(その他) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - |
| | 計 | 8, 966 | 13 | 10, 387 | △ 1,421 | 86 | 4, 492, 745 | 31 | 5, 874, 759 | △ 1, 382, 014 | 76 | 5, 011 | 5, 656 | △ 645 | 89 |
| | 三 陸 | 20, 896 | 32 | 57, 147 | △ 36, 251 | 37 | 3, 372, 417 | 23 | 5, 267, 765 | △ 1,895,348 | 64 | 1, 614 | 922 | 692 | 175 |
| 大中型旋網 | 遠 海 | 23, 994 | 36 | 27, 618 | △ 3,624 | 87 | 1, 217, 303 | 8 | 1, 288, 607 | △ 71, 304 | 94 | 507 | 467 | 40 | 109 |
| | 計 | 44, 891 | 68 | 84, 766 | △ 39, 875 | 53 | 4, 590, 150 | 31 | 6, 556, 728 | △ 1, 966, 578 | 70 | 1, 023 | 774 | 249 | 132 |
| | 大 型 | 707 | 1 | 926 | △ 219 | 76 | 319, 971 | 2 | 526, 806 | △ 206, 835 | 61 | 4, 526 | 5, 689 | △ 1, 163 | 80 |
| 機船底びき網 | 中 型 | 7, 018 | 11 | 6, 538 | 480 | 107 | 3, 548, 270 | 24 | 2, 896, 663 | 651, 607 | 122 | 5, 056 | 4, 431 | 625 | 114 |
| 70枚列口区(ひ、0、10円) | 小 型 | 148 | 0 | 174 | △ 26 | 85 | 49, 654 | 0 | 74, 557 | △ 24,903 | 67 | 3, 355 | 4, 285 | △ 930 | 78 |
| | 計 | 7, 873 | 12 | 7, 638 | 235 | 103 | 3, 917, 895 | 26 | 3, 498, 026 | 419, 869 | 112 | 4, 976 | 4, 580 | 396 | 109 |
| | その他 | 4, 387 | 7 | 5, 401 | △ 1,014 | 81 | 1, 759, 049 | 12 | 2, 190, 336 | △ 431, 287 | 80 | 4, 010 | 4, 055 | △ 45 | 99 |
| 水 | 揚げ総数 | 66, 117 | 100 | 108, 192 | △ 42, 075 | 61 | 14, 759, 839 | 100 | 18, 119, 849 | △ 3, 360, 010 | 81 | 2, 232 | 1, 675 | 557 | 133 |

令和元年全国主要市場水揚表

(令和2年1月20日現在)

| | | | | | | | | | | -1月20口現任 |
|-------------|----|-----------|----------------------|--------|--------------|-------------|-----|-----------|----------------------------|----------|
| | | 水揚数量 | | | | | | 水揚金額 | 質 | |
| 順 位 (昨年) | 市場 | 名 (都道府県名) | 数 量 (昨 年) | 対前年比 | _ | 順 位 (昨年) | 市場 | 名 (都道府県名) | 金 額 (昨年) | 対前年比 |
| 1 (1) | 銚 | 子(千葉県) | 280,366 (252,386) | 111.1 | _ | 1 (1) | 焼 | 津(静岡県) | 41,697,489 (48,270,103) | 86.4 |
| 2 (3) | 釧 | 路(北海道) | 172,268 (121,878) | 141.3 | _ | 2 (2) | 福 | 岡(福岡県) | 40,687,204 (43,695,232) | 93.1 |
| 3 (2) | 焼 | 津(静岡県) | 172,013 (169,806) | 101.3 | | 3 (3) | 長 | 崎(長崎県) | 33,196,883 (32,501,252) | 102.1 |
| 4 (4) | 長 | 崎(長崎県) | 100,897 (118,532) | 85.1 | | 4 (4) | 銚 | 子(千葉県) | 27,485,220 (29,648,435) | 92.7 |
| 5 (7) | 石 | 巻(宮 城 県) | 100,245 (106,617) | 94.0 | _ | 5 (5) | 境 | 港(鳥取県) | 21,176,089 (21,782,150) | 97.2 |
| 6 (8) | 枕 | 崎(鹿児島県) | 88,405 (96,963) | 91.2 | _ | 6 (6) | Ξ | 崎(神奈川) | 20,440,074 (20,948,000) | 97.6 |
| 7 (5) | 境 | 港(鳥取県) | 85,673 (115,380) | 74.3 | _ | 7 (11) | 稚 | 内(北海道) | 18,020,134 (17,980,629) | 100.2 |
| 8 (10) | 稚 | 内(北海道) | 78,374 (80,756) | 97.0 | _ | 8 (7) | 根 | 室(北海道) | 16,929,198 (20,016,667) | 84.6 |
| 9 (11) | 松 | 浦(長崎県) | 71,878 (79,519) | 90.4 | _ | 9 (9) | 石 | 巻(宮城県) | 16,537,085 (18,437,037) | 89.7 |
| 10 (6) | 八 | 戸 | 66,117 (108,192) | 61.1 | _ | 10 (13) | 下 | 関(山口県) | 15,597,914 (15,993,321) | 97.5 |
| | | | 数量∶トン | 対前年比:% | - | 11 (8) | 気 仙 | 沼(宮城県) | 15,403,313 (19,844,337) | 77.6 |
| | | | | | | 12 (10) | 八 | 戸 | 14,759,839 (18,119,849) | 81.5 |
| | | | | | - | | | | 金額:千円 | 対前年比:% |

- ※ ・上記の表は、八戸市が、全国の主要な22市場に対して調査を実施したもの。
 - ・金額について、昨年はすべて税込み、今年は焼津、根室は税抜き、その他は税込み

経済協議会資料 令和2年1月21日 農林水産部 水産事務所

市営魚菜小売市場の耐震診断結果について

1 対象施設の概要

| 施設名 | 構造 | 階数 | 延べ床面積 | 築年 |
|----------------|--------------------------------------|------|----------|-----------------|
| 八戸市営 魚菜小売市場 | 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造・ 鉄骨造) | 地上2階 | 1,852 m² | 昭和 42 年(築 52 年) |

2 耐震診断調査の概要

- ① 調査受託者及び契約期間:株式会社 石川設計(令和元年7月24日~令和2年3月13日)
- ② 主な調査内容
 - ・コンクリートコア採取及び中性化試験(コンクリートの劣化具合を調べる。)
 - ・既存柱の帯筋調査(鉄筋探査機を使用し柱の中の鉄筋の状況を調べる。)
 - ・鉄骨部材調査(鉄骨部材のサイズとボルト径を調べる。)

3 診断結果の概要

構造耐震指標 (Is 値) について、最も低い箇所で 0.31 となり、耐震性能は国土交通省が所要の耐震性を確保するために求めている構造耐震指標 0.6 を下回り、耐震化の措置が必要となった。

| 階数 | Is 値(各階、各方向の最小値) | | | | |
|-----|------------------|---------|--|--|--|
| P自教 | X方向(長辺) | Y方向(短辺) | | | |
| 2 階 | 1.15 | 0.52 | | | |
| 1 階 | 0.33 | 0.31 | | | |

※Is 値(構造耐震指標)とは 建築物の強度、靭性(じんせい:変形能力、粘 り強さ)を考慮し、算出した耐震性能(地震に 対する安全性)を数値化したもので、値が大き いほど耐震性能が高い

参考 Is値に対応する耐震性能(国土交通省告示第184号耐震診断の指針より)

| I s値 | 耐震性能(震度6強想定) |
|------------|--------------------------------|
| 0.3 未満 | 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い |
| 0.3以上0.6未満 | 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある |
| 0.6以上 | 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い |

4 耐震補強工事案の概要

- ① 杭及び1階への荷重を軽減するため、2階を減築
- ② 耐震外壁の増設と既存柱の補強

5 今後の対応

- ① 施設の耐震化については、4の耐震補強案を前提に今後関係者と協議しながら具体化に向け早 急に検討する。
- ② 施設の耐震化までの間は、引き続き市場を開場する。また、1階に過度の荷重がかかることがないように、2階にある管理施設については必要最小限の立ち入りとするほか、現在の未利用スペースについては、一般の立ち入りができないよう措置を講ずる。